

京都市市民防災センター指定候補者の選定に係る審査項目及び審査内容

審査項目	審査内容	配点 (100)	審査結果
応募者の状況	申請団体の状況	○申請団体の特徴、財務状況、コンプライアンスの状況(過去2年間の重大な事故及び不祥事※の有無並びに対応等)	10
	同種事業の実績	○教育、訓練施設運営の的確性、能力	10
事業運営に関する計画	施設運営の考え方	○業務実施に当たっての管理運営方針	5
	サービス提供体制	○職員の体制(有資格者の配置、人員配置、業務シフト等) ○職員の確保・育成策(研修計画、資格取得の支援、有資格者・長期従事者の優遇等) ○労働関係法令の遵守	5
	サービスの質の確保	○利用者の意見を把握する方法とサービスへの反映方法 ○サービスの自己評価についての考え方	5
	個人情報保護の体制等	○個人情報等の情報管理体制	4
	地域との連携	○地域との連携についての考え方と具体策	4
	施設の維持管理	○建物維持管理業務、設備維持管理業務、清掃業務、警備業務の考え方	4
	危機管理の方策	○体験学習に係る事故・不祥事防止などを含む日常的な危機管理の方策 ○火災、地震等の災害発生時の対応について、来館者保護及び応急活動の拠点としての役割を果たすための体制	5
	対象別指導方法	○各種団体に対する、それぞれの防火防災指導の考え方 ・幼少年 ・一般団体 ・自主防災組織 ・事業所自衛消防隊など	5
	啓発事業の内容	○防火防災意識の普及啓発に係る各種イベント、講演会等、実施しようとする事業の内容	5
	情報提供・発信	○インターネット、SNS等による情報発信、広報媒体の作成計画等の内容	4
	普及啓発方法	○新たな普及啓発方法及び提案	4

	来館者増加策	○来館者増加のための取組(自主事業に関する計画を含む)	5	
経済性	経営計画	○経営の確実性のための、管理運営に係る見積額 (給料手当、福利厚生費、建物施設の維持管理費、指導業務費、その他の事務費等について、令和5年度から令和8年度までの4年度分) (団体、所在地及び代表者の押印があるもの) ○経費の縮減の取組 ○運営経費の考え方 (事業計画と経費のバランス、妥当性当)	10	
	市内中小企業への発注	○市内中小企業への発注に対する考え方	5	
その他	政策的な取組	○団体(企業)倫理やコンプライアンスの取組 ○環境へ配慮した取組(環境マネジメントシステムの認証取得、再生可能エネルギー電機の購入等) ○健康への配慮の取組 ○障害を理由とする差別の解消の取組 ○男女共同参画に向けた取組 ○子育て支援への取組	10	

※ 「重大な事故」及び「不祥事」とは、次のものをいう。

- ① 当該団体に生じた事案で、京都市競争入札参加停止取扱要綱第3条の規定に基づく参加停止を行う要件に該当するもの又はこれに準じるもの
- ② 当該団体の職員のうち、公の施設の指定管理業務に従事する者の行為で、地方公務員法第33条に規定する信用失墜行為に相当すると認められるもの